

新むつ小川原株式会社は、むつ小川原開発地区及び周辺の現在の姿や、立地企業・団体の活動について皆様にお伝えするため、視察いただいた方々の感想や立地企業からの近況報告などを掲載した「むつ小川原だより」を発信しております。

第12回目は、公益財団法人八戸地域高度技術振興センター 専務理事 事務局長の松坂洋司様からの寄稿をお届けいたします。

【寄稿】「次世代に向けた無限のエネルギーの可能性」  
公益財団法人八戸地域高度技術振興センター 松坂洋司 専務理事 事務局長

例年当振興センターが実施していた施設見学は、コロナ禍の影響により中止が続いていましたが、環境も良化傾向にあり、やっと本年6月に実施の運びとなりました。そして一番に選んだ訪問先が日本でも有数のエネルギー事業集積地「むつ小川原開発地区」でした。

八戸とは比較的近い距離にありながら、その圧倒的な各種エネルギー関連施設の進化の現状は未知の領域と言っても過言ではなく、見学前から期待に胸が躍りました。感染防止対策を考慮しながらの制限ある参加者募集にもかかわらず、たくさんの企業、産業支援機関、行政、教育機関から応募があり「むつ小川原開発地区」への関心の高さがうかがえました。

最初に訪れたのは、極めて高効率で炭素を排出しないクリーンな発電手法として注目される「国際熱核融合実験炉（ITER）」の稼働に向けた研究開発を行っている「国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構六ヶ所研究所（以下、QST六ヶ所研究所）」でした。

施設見学の前に、この研究所では核融合エネルギーの発生を世界で初めて実証するための「核融合実験炉」を建設する国際プロジェクト「イーター（ITER）計画」を支援するとともに、核融合エネルギーによる発電を初めて実証する「核融合原型炉」の早期実現のために、核融合エネルギーの国際的総合研究開発拠点としての役割を担っていると説明があり、同県で生活をする私にとって誇らしさを感じました。

その後、実際に研究の現場を視察しました。研究者の方々の丁寧な説明や最新の研究設備や技術を目にし、次世代に向けた無限のエネルギーの可能性を感じました。

施設見学後のディスカッションでは参加者からの積極的な質問や意見の多さから、皆さんの興味と期待の大きさを感じました。

QST六ヶ所研究所を後にし、次は湖かど見間違う規模の広さのメガソーラー集積地を見学しました。その後バスの車窓から、私が当地区を知るきっかけとなった巨大な石油備蓄タンクや、想像していた以前の六ヶ所村とは全く違った、エネルギー集積タウンの一面をのぞかせる街並みを見学しました。そして、いつもなら遠くからしか見る機会のない、回転する無数の風力発電ブレードを足下から見学するなど、貴重な体験で、参加者の皆さんからも「また是非訪問したい」、「自社の社員にも見学させたい」との声を聞くことが出来ました。



QST六ヶ所研究所視察の様子

さて、本年4月1日、八戸地区の企業が集い「八戸地域新ゼロエミッション連絡協議会」が発足しました。この連絡協議会は、もはや社会にとって必要不可欠な「ゼロエミッション」への取組として、生産を持続しながらカーボンニュートラルの実現に向けて地域の産業界が互いに連携しながら、問題点の共有と解決、新技術の習得等を行う開かれた情報交換の場を提供・支援し、競争力の強化、雇用の維持、地域や企業の知名度の向上を目的としています。

そしてこの連絡協議会の設立は、昨年QST六ヶ所研究所の新技術開発を紹介するため、QST六ヶ所研究所と新むつ小川原株式会社、私が所長を務める株式会社八戸インテリジェントプラザと一緒に八戸地域の企業や教育機関、そして行政機関を訪ねた事がきっかけでした。大げさに言えばその活動がなかったら連絡協議会の発足はなかったかもしれません。私は八戸地域の企業を代表し、QST六ヶ所研究所と新むつ小

川原株式会社に謝意を表します。

既にご存じの通り、北東北で有数の工業都市である八戸市。日本で有数の素材系企業も多く、「八戸地域新ゼロエミッション連絡協議会」の設立企業5社を含め、八戸市全体のCO<sub>2</sub>排出量の48.9%が「産業部分」となっており、どの企業も「カーボンニュートラル」へ真剣に取り組んでいます。今回訪問したむつ小川原開発地区の先進的なエネルギー事業を参考にしながら、当地区ですすめている、次世代エネルギーの主役であろう「水素」の地産地消モデル構築へのアプローチに大きな期待をよせています。

八戸地区の「ゼロカーボンシティ」そして、エネルギー事業集積地「むつ小川原開発地区」が連携し、自他共に認める日本一の「エネルギー先進地」になることを目指し、微力ながらしっかりと活動を続けようという心に決めました。



ユーラス六ヶ所ソーラーパーク視察の様子  
右端3列目が松坂様



## 松坂 洋司

公益財団法人八戸地域高度技術振興センター  
専務理事 事務局長

株式会社八戸インテリジェントプラザ  
常務取締役所長

## むつ小川原 I N F O R M A T I O N

### ご視察に関するお問い合わせ

弊社にてむつ小川原開発地区の視察案内を承っております。  
お問い合わせはページ下枠に記載の連絡先へお願いいたします。

むつ小川原だより Vol.12

[編集・発行] 新むつ小川原株式会社 企画営業本部  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館20階  
TEL 03-5218-0062 Email [SMO62\\_kikaku@shinmutsu.co.jp](mailto:SMO62_kikaku@shinmutsu.co.jp)

#### ◎立地企業の皆様へ◎

むつ小川原開発地区での取組みを「むつ小川原だより」で発信してみませんか。  
ご希望の方は上記電話番号またはメールアドレスへぜひご連絡ください。